

Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより
第68号

nanae historical
museum collection



ななえ古写真物語

VOL. 68

勤労奉仕

戦時下の農業

昭和14年頃か？

大中山地区

皆さんは、「勤労奉仕」という言葉をご存知でしょうか？ この言葉は、勤労を持って奉仕活動を行うことを意味しており、ほぼ無償を前提として、国家事業への協力や、災害時救助活動への協力の為に行動を伴い活動する事で、生活環境を改善する為の公益活動なども含みます。近年では「ボランティア」という言葉が使われるようになったため、あまり知られなくなってきた単語かもしれません。

しかしながら、戦争を経験している方々にしてみれば、「勤労奉仕」はすなわち「学徒動員」につながる意味として捉えられるのではないのでしょうか。この言葉は、第二次世界大戦中に深刻な労働力不足を解消するために、中学生以上の生徒たちが、軍需産業や食料生産に動員されることで、特に、昭和18年に「学徒戦時動員体制確立要綱」が閣議決定されてからは、全国的にこの動きが苛烈になりました。

七飯町の戦時中の農業について『七飯町史』には、昭和15年から食料管理法にもとづく供出制度が施行され、収穫量の中から種子用と自家用を控除し、その残りを供出させられ農村労働力の不足については、各学校生徒の労力請け入れの措置を講じた・・・と書かれています。

さらに、戦時下のななえでも、約40歳くらいまでの男性は強制的に戦争に駆り出されたため、重要な労働力を失った農村では、銃後を守る老弱男女が勤労に励み、その補助として子供たちが勤労奉仕という形で半強制的に協力させられたと記載されています。

そういった情勢を記録した上の写真は、大中山尋常小学校高等科の生徒たちが、稲刈りの奉仕活動をしている様子になります。撮影場所は大中山神社付近と伝えられていますが、真偽の程は定かではありません。撮影されたのが、昭和14年頃ですから、まだ強制的に奉仕活動が要求されていない時期でしょうが、時代に巻き込まれていこうとしている子供たちの姿が確かにそこにあります。改めて、こういった写真が伝えてくれることは、当時の様子だけではなく社会背景や暮らしぶりだと感じさせられます。

毎年、終戦の日を迎え式典などが行われますが、私たちにとっては単なる記念日ではなく、記憶と記録を集め、歴史として伝えることを再認識する日なのかもしれません。その為に当館では、今後も銃後を守る方々の写真を収集していきたいと考えておりますので、貴重な資料をお持ちの方はご一報願います。

3日 夜の博物館の第2回講座「横津岳でみられる植物」を開催しました。講師には、当館の植物観察会でもお世話になっている宗像英明氏をお招きしました。

横津岳の成り立ちから、高層湿原や麓付近でみられる植物をスライドなどで紹介し、植物が昆虫とどのように共生し生き残りの戦略をたてているのか、とても興味深いお話を頂戴しました。

参加者からも、たくさんの質問が飛び交うなど、とても充実した時間でした。宗像先生ありがとうございます。



25日 ジュニア探検クラブ第4回プログラム「町内を見学しよう！」を開催しました。午前中は生憎の雨模様でしたが、町バスを利用して藤城地藏堂や峠下ホテル跡、大川一本栗地主神社などの史跡・文化財を見学。学芸員からその歴史や伝説の説明を受けました。

午後からは、楽しみにしていた工場見学です。きびだんごで有名な「天狗堂宝船」さんで生産ラインの見学や練りたてのきびだんごを試食、そしてお土産まで頂きました。天狗堂宝船さん、忙しい中ありがとうございました。

27日 昆虫採集・標本づくり教室を開催しました。

参加者が少なかったのが残念ですが、専門家から本格的な採集用具の使い方の指導を受けた後、仁山地区で昆虫採集を行いました。トンボを中心にチョウやコガネムシなどを採集し、午後からは館に戻って標本づくりを行いました。

標本づくりは、今回が初めてという子供ばかりでしたが、あっという間に上達し、スタッフも驚くほどでした。また来年も参加して下さいね！



9月の予定

1	日
2	月
3	火
4	水 夜の博物館
5	木
6	金
7	土
8	日
9	月
10	火
11	水
12	木
13	金
14	土
15	日
16	月 敬老の日・ふあみりーでいみゅーじあむ
17	火
18	水
19	木
20	金
21	土
22	日
23	月 秋分の日
24	火
25	水
26	木
27	金
28	土 ジュニア探検クラブ
29	日
30	月

※9月の休館日はありません。

就業体験・・・

七飯高校の就業体験実習生を受け入れました。とはいえ、当館の仕事は作業ばかり……。さび落としや草むしりなど大変だったかな？



編集後記 ~tawagoto~

暑い毎日が続いていますね。ここのところ毎日が蝉時雨。今年は特にセミが多いような気がします。そんなセミの鳴き声に刺激されて、沸々と昆虫採集欲が湧き上がったので、久しぶり虫捕りへ……。

今後の展示を考慮して、なるべく写真撮影をしながら、虫を捕ることを心掛けているのですが、逃げられる！と焦ってしまい、あたふたしてしまいました。でも、おかげさまで良い時間を過ごさせてもらいましたよ。(やまだひさし)

Pichart ~ピチャリ~ 第68号

平成25年8月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp